

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和7年5月30日
運営推進会議開催日	令和7年6月18日
外部評価作成日	令和7年7月26日
提出日・公表日	令和7年7月31日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業 所理念をつくり、管理者と職員は、その理念 を共有して実践につなげている	B. ほぼできている	事業所理開設時に事業所理念を職員で話 し合い作成し、目につく場所に掲示してい る。「ひとりひとりに寄り添って自分らしい生活 を支える」という理念に基づき、日々の活動 や支援に生かしている。			
2	事業所と地域とのつき あい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮 らし続けられるよう、認知症の人の理解や支 援の方法などを共有し、事業所自体が地域 の一員として日常的に交流している	C. あまりできていない	公民館での催し物や作品展等の観覧、近 所の方からの花の寄付、放課後デイサービ スからのプレゼントなどの交流があったが、 関わりが限定的であり日常的な交流には 至っていない。	どのように交流を始めていけば良いのかの 相談。自治会の実情やGHでの取り組みにつ いても話し合いをしました。		地域のイベント又はGH側から地域に 向けてのイベントを企画する等、簡単 なことから自治会と始められると良 い。(町内清掃活動参加、施設の開 放などの意見をいただきました。)
3	運営推進会議を活か した取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービス 向上に活かしている	B. ほぼできている	利用者の状況や災害訓練、研修の実施状 況などを報告し、質問・意見・要望を聞いて 職員会議で検討し、サービスの向上に努め ている。会議の内容は職員が常時確認でき るようにしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事 業所の実情やケアサービスの取り組みを積極 的に伝えながら、協力関係を築くように取り組 んでいる	B. ほぼできている	運営推進会議に市役所職員に参加いた だいて意見を聞くとともに、管理者、計画作成 が窓口となり電話や対面で相談、報告し関 係を築いている。			
5	身体拘束をしないケア の実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指 定基準における禁止の対象となる具体的な 行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含 めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	B. ほぼできている	定期的に全職員に研修を行い、身体拘束 に対する理解を深め、委員会や職員会議で 拘束になりうる事例がないか検討している。 玄関については夜間等、職員一人体制時 は防犯対策として施錠をしている。		B. ほぼできている	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法に ついて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事 業所内での虐待が見過ごされることがないよ う注意を払い、防止に努めている	B. ほぼできている	年2回全職員に研修を行い、定期的に チェックリストを活用しながら不適切ケアが 行われていないかモニタリングやカンファ レンスで確認し合うなど、振り返る機会を設け ている。		B. ほぼできている	

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	B. ほぼできている	研修で周知し、資料を回覧できるようにしている。ポスターを玄関やフロア掲示板に掲示し、家族や利用者の目に触れるようにしている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	B. ほぼできている	別紙も用い、相手に合わせ専門用語を使わないようにしながらわかりやすく説明できるように努めている。改定時も速やかに連絡し了承を得ている。			面会や電話連絡の時には近況を丁寧に伝えてくれる。これからも継続して欲しい。
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	受診や面会、電話連絡時に近況と本人の希望を伝えている。また年に1回家族、利用者アンケートを行い、意見・要望があれば可能な範囲ですぐに検討している。		B. ほぼできている	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B. ほぼできている	月に1回の全体会議や、ミニカンファ、申し送りノートで意見や提案が気軽にできるようにしている。また管理者や主任による個人面談で意見や不安を聞く機会を設けている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B. ほぼできている	年2回の人事考課や職員からの聞き取りを管理者が人事に伝えたり、業務負担や業務内容の検討、労働環境の整備を行っている。		B. ほぼできている	職員の給与水準の向上や働きやすい職場環境を作る努力が必要。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B. ほぼできている	研修資料を職員が自ら用意して毎月研修を行って見識を深めたり、役立ちそうな資料を自由に回覧できるようにしたりしている。新人職員には指導担当をつけ計画的に指導を行っている。		B. ほぼできている	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	C. あまりできていない	外部研修への参加で同業者と交流をしたり、社内事業所と合同研修や情報交換を行ったりしているが、一部の職員にとどまっており交流の機会が十分ではない。			外部研修や合同研修に取り組む機会が増えると良い。
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	B. ほぼできている	役割を持つことで存在意義を感じてもらえるよう努めている。また感謝の言葉を伝え一方的にならないようにしている。利用者様同士の居室の行き来や茶話会を通して絆を深めている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や 場所との関係が途切れないよう、支援に努め ている	B. ほぼできている	毎週の面会や外出、月命日のお参り、 教会の礼拝に参加される方もいる。ま た電話の仲介、手紙の支援、馴染みの 場所へのドライブも行っているが、意 思表出が少なかったり個々の事情が あって実施できていない方もいる。			個々の事情に合わせて実施できると 良い。
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一 日の過ごし方の希望や意向の把握に努め ている。	B. ほぼできている	入居前アセスメントで思いや背景を調 査し、入居後も要望を把握して職員間 で情報共有している。共同生活による 制限もあるが、家族にも協力を仰ぎな がら、できる限り本人の望む生活が提 供できるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計 画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり 方について、本人、家族、必要関係者と話 し合い、それぞれの意見やアイデアを反映 し、現状に即した介護計画を作成している	B. ほぼできている	定期的にモニタリングを行い、本人の 意向を尊重しながら家族とも相談し半 年ごとに介護計画書の見直しを行って いる。その他、状態変化に即し都度ミ ニカンファレンスで検討している。	評価項目通り達成されていると考えま すと評価される。	B. ほぼできている	介護計画書はその時の状態に合った形で 見通しがされている。変わったことが起きた 場合、電話連絡で家族への対応も迅速で ある。
18	個別の記録と実践へ の反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工 夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共 有しながら実践や介護計画の見直しに活か している	B. ほぼできている	申し送り確認表を活用し、不足がない よう情報共有している。。また気づき が増やせるようパソコンを増設し経過 記録が見やすいようにしている。利用 者対応が優先になるため、気づきが記 録に残せていないこともある。		B. ほぼできている	面会時に日々の様子を丁寧に教え てくれる、定期的な家族宛のお便りも 細やかと評価される。引き続き実施 できると良い。
19	一人ひとりを支えるた めの事業所の多機能 化	本人や家族の状況、その時々生まれる ニーズに対応して、既存のサービスに捉われ ない、柔軟な支援やサービスの多機能化に 取り組んでいる	B. ほぼできている	利用者一人ひとりに合わせ福祉用具の 提案や食形態の変更、訪問看護との連 携を行い、柔軟な支援を心がけている が既存のサービス内での解決になりが ち。	サービスが充実することは良いが、職員の 負担が増えないと良い。		定期的な業務内容の見直しを行っ ていく。
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を 把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全 で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援 している	C. あまりできていない	地域のイベントのポスターを掲示し希 望者を募って芸能祭や美術展を見に 行ったり、図書館で本を借りたり、市 日や商店で買い物したりと、地域の単 調な生活にならないよう支援している が、人員配置の問題で利用が不十分。	地域資源は何かあるのか、市の職員や 自治会長に相談をした。		情報収集し、地域資源は何かあるの かを模索するのが課題。
21	かかりつけ医の受診支 援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所の 関係を築きながら、適切な医療を受けられる ように支援している	A. 充分にできている	受診は家族付き添いをお願いしてお り、事業所から受診報告書や電話での 相談を行うことで連携をとっている。			
22	入退院時の医療機関 との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるよ うに、また、できるだけ早期に退院できるよ うに、病院関係者との情報交換や相談に努め ている。あるいは、そうした場合に備えて病院 関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている	入院時は速やかに報告書を作成し相談 している。定期的に病状の確認を行っ たり、退院前には直接状態の確認をし たり、医療機関とカンファレンスを行 い、退院調整や退院後の環境整備に努 めている。		A. 充分にできている	今まで夜間の救急対応はなく、日中 の内に医療へ繋げている。これからも 引き続き対応をお願いされる。

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	B. ほぼできている	重度化した場合について、契約前より事業所でできることを説明、了承を得ている。状態変化時には、その都度予後や今後について速やかに家族と相談や意思確認を行っている。		B. ほぼできている	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	C. あまりできていない	緊急対応マニュアルを作成し訪問看護と連携して定期的に研修、訓練を行っているが、緊急時に対応ができるか不安を感じる職員も多く臨機応変に対応できるように実践力を養っていく。			研修を活かし、実践力をつけていく。職員がまんべんなく対応できるようになるのが課題。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	C. あまりできていない	各職員が役割を把握し、実際に動けるよう防災委員会を中心に年2回の避難訓練とBCP研修、訓練を行っている。地域との協力体制の構築はできていない。	災害発生時に職員だけでは対応不可であることを考え、地域の協力をいただけるように体制構築が必要。自治会にも協力を依頼した。	C. あまりできていない	6/22 市の水害訓練に参加。施設からも積極的に訓練への参加や協力依頼をしています。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B. ほぼできている	研修を行うことで職員一人一人が意識して言葉かけや対応を工夫するよう努めている。本人の気持ちや背景を理解することゝうを大切にしている。		B. ほぼできている	本人様の人格を尊重し、プライドを守ってくれていると評価される。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	B. ほぼできている	体調や気分等本人のペースに合わせ、無理強いせずに食事や起床の時間をずらしたり、意思疎通が難しい方の意思表示のサインを見逃さないよう心掛けている。外出は、天候や人員配置により職員都合になりがち。			・
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	B. ほぼできている	一人ひとりの状態に合わせ、米ときや食器洗い、盛り付けや味見、おしぼりの準備等の家事分担に参加してもらっている。季節の料理や郷土料理も提供している。		B. ほぼできている	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	B. ほぼできている	食事量や水分量を把握したり、定期的に食事形態の見直しを行い、情報共有して一人一人に合わせた盛り付けや声掛け、提供温度の工夫を行っている。必要時、言語聴覚士に相談し、飲み込む力を確認している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B. ほぼできている	声掛けの工夫や仕上げ磨き、洗口剤の使用で口腔内の清潔を保っている。異変時は速やかに家族に連絡し、歯科受診や訪問歯科相談に繋げている。		B. ほぼできている	(GH)口腔ケアの勉強会があれば、参加したいと考えている。(11月検討中)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B. ほぼできている	声掛けの工夫や、尿便意のサイン・気づきを意識している。なるべくトイレでの排泄を促し、自立支援を意識している。必要時、訪問看護や医師と相談しながら排便コントロールをしている。		B. ほぼできている	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	B. ほぼできている	事前に入浴日を伝え、予定や体調に合わせて入浴日の調整をしたり、入居前の習慣に合わせ時間の変更をするなど柔軟な対応を心がけている。羞恥心に配慮し、希望者に同性対応も行っている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている	電気毛布の使用や布団、空調の調整の支援をしたり、本人の体調に合わせ昼寝を勧めたりしている。必要に応じて眠りSCANを活用し、眠りの様子を家族様同意のもと観察し改善に努めている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B. ほぼできている	薬剤情報を回覧し、薬の錠数を見やすく表記したり、薬変更時は情報を周知し、体調変化に留意したりしている。また薬の事故がないようWチェックし、居宅療養管理指導の活用で薬剤師に相談ができるようにしている。		B. ほぼできている	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	B. ほぼできている	入居前の聞き取りや普段の会話から情報収集をし、共有して役割を持ってもらったり、楽しみごとを提供している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	C. あまりできていない	毎回希望通りではないが、ドライブや散歩の支援をしている。普段行けない場所は行事計画を立てて準備をして出かけたり、家族に協力してもらったりしている。	対象者個々に合わせた外出の機会の提供をするにはどうしたらよいか。		情報収集を行い、対象者に合わせた外出の機会の提供ができると良い。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	D. ほとんどできていない	本社の方針で現金の預かりはしていない。レク費の一部で好きなものを買に行く買い物ツアーを企画したりしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	C. あまりできていない	施設の電話や私物の携帯電話でやりとりをしたり家族を通じて、手紙を送っている方もいるが、全員ではない。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている	季節の花や飾りの製作で季節を感じられるようにしている。 トイレには案内表示や水の流し忘れに気づけるよう掲示をしたり、食席やテレビの配置、機械やドアの開閉音に配慮して、一人一人が居心地よく過ごせるよう環境を整備している。		A. 充分にできている	いつ訪室しても共用フロアが整理整頓されている。季節ごとの壁画や生け花など心地よい空間作りへの配慮を感じるとご家族様より評価される。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	B. ほぼできている	意思表示が出来ない方には、選択肢を作って選んでもらったり表情や声色等、非言語でも意思を確認している。思いや願いが現実的でなかったり、本人と家族と意見が分かれることもあるが、添えるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	普段の会話から情報収集し、生活歴や習慣に配慮してその人らしさを大切にするよう努めている。習慣や趣味の継続までには至っていない。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	記録や申し送り、定期受診や居宅療養管理指導の利用、週1回の訪問看護によって他医療従事者と連携を取り体調を把握して支援につなげている。		B. ほぼできている	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	B. ほぼできている	体調面を考慮しながら、生活歴や習慣に基づき、職員都合で動いてもらうこととのないよう、静養や食事など、できるだけ本人のペースにあった生活ができるよう心がけている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	B. ほぼできている	なるべくなじみの家具や食器、写真、洋服や趣味の物を持って来てもらい、美容院の継続利用、化粧品や花の世話等、その人らしく過ごせるよう配慮、環境整備を行っている。		B. ほぼできている	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	C. あまりできていない	感染症に配慮しながら、計画を立てて市日や芸能祭^、絵画展などに外出している。花火大会は、近隣の駐車場を借りて観覧した。職員配置や感染対策の都合により、急な要望には対応ができていないことが多い			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	B. ほぼできている	普段の様子や会話から楽しみや得意なことを把握し、できること、できそうなことを探っている。個々に合わせて役割を持ってもらっている。			

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと 時や、活動場面を日々の暮らしの中で得るこ とができています	B. ほぼできている	食席を配慮したり交流時に間に入ったり、 興味がある話題を把握し提供して いる。利用者様同士でも居室を行き来 し相談しあったり協力したりされてい る。		B. ほぼできている	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関 わったり、交流することができている	C. あまりできていない	近隣の子供と関わりをもったり、放課 後デイサービスの訪問を受けたりして いるが、感染対策で交流が限定的だっ たり、開設したばかりの施設のため地 域との関係性が希薄。			(自治会)チラシや広報の配布やボ ランティアの募集をかけてみてはと提 案。
49	総合	本人は、このGHIにすることで、職員や地域 の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々 をおくる事ができている	B. ほぼできている	認知症からの困りごとが軽快し笑顔が 増えている。職員を家族の一員よう に親しみを感じてくださるとともに利 用者様同士の関係も構築できており施 設を居場所と思っていたでいる。 地域にも親しみが持てると良い	・これからも安心してもらえるような支援を継 続してほしい。	B. ほぼできている	